

2017年9月22日

移動のいまとこれからを見つめ、“新しい移動”を創発するプロジェクトチーム  
**「Move Design Lab (ムーブ・デザイン・ラボ)」設立のお知らせ**

## Move Design Lab

株式会社ジェイアール東日本企画(本社:東京都渋谷区、社長:原口 幸)は、変容する生活者の移動の実態を考察し、移動の未来を構想しながら“新しい移動”を創発するプロジェクトチーム「Move Design Lab (ムーブ・デザイン・ラボ/MDL)」を始動させます。

弊社ではこれまで長年の調査研究にて生活者の移動行動を観察し、「移動者マーケティング」というマーケティングコンセプトを掲げてまいりましたが、新プロジェクトはこれを継承しつつさらに発展させるものです。

### >MDL設立の背景

MDL設立の背景には、生活者の「非移動化」、つまり外出行動における明確なダウントレンドがあります。国土交通省の調査によると、生活者の外出行動は以前から縮小が進んでいたものの、近年その傾向が顕著になりつつあるようです(次頁参照)。

非移動化の最大の理由は言うまでもなくインターネットおよびスマートフォンの普及にあります。SNSやネットショッピングなどのリアルな移動を必要としないサービスが徐々に浸透してゆくことで、一見すると世の中は「移動が当たり前ではない社会」へと移行し始めているように見えます。

しかしその一方で、ネットで情報を得る機会の増加や、新しい技術やサービスの浸透により、これまでにはなかった新しいタイプの移動も生まれつつあります。例えばネットで知ったリアルな場へのチェックインや、GPS機能を利用したスマホゲームなどは、まさに「新しい移動」の萌芽と言えるのではないのでしょうか。弊社が今年実施した調査によると、スマホを使い始める前までは訪れたことのなかった場所に足を運ぶようになったと回答した生活者が3割にのぼりました。

移動行動が量的に、かつ質的に変わり始めたことによって、生活者のライフスタイルはこれからどう変わってゆくのでしょうか。それは“一億非移動化”の始まりか、それとも新たな時代の幕開けでしょうか。いずれにしても移動の変化は企業にとって脅威であると同時に、大きなマーケティング機会であると私たちは考えています。

そこで弊社は生活者の変わりゆく移動行動を考察し、移動の未来について考えてゆくプロジェクトチーム「Move Design Lab (MDL)」を始動させることにいたしました。

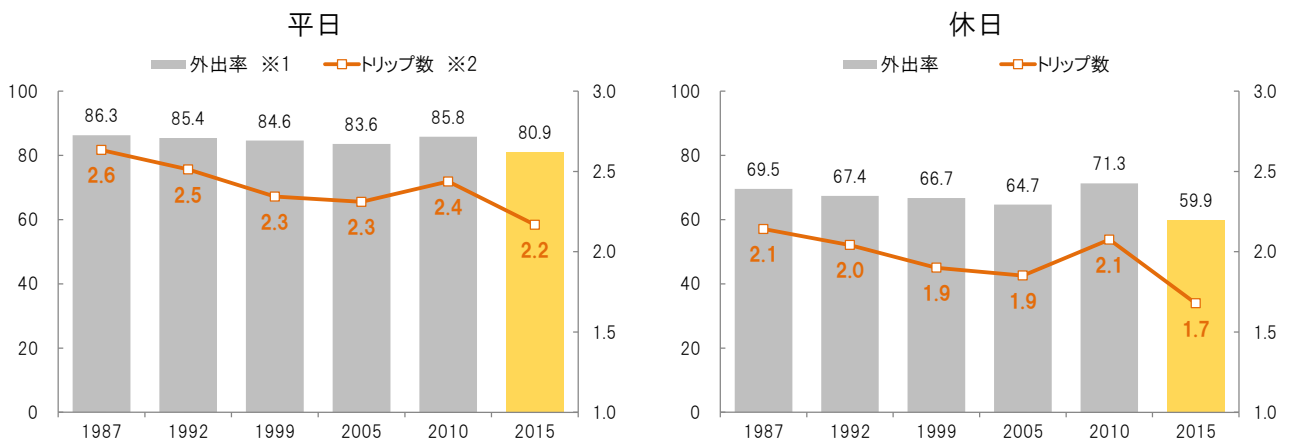
## >MDLのミッション:「Move Design(ムーブ・デザイン)」

MDLでは未来を示唆する新しい移動を「Move(ムーブ)」と呼び、さまざまなアプローチを通じたMoveの活性化をミッションに掲げます。生活者の移動行動の実態を把握し、新たなMoveの兆しを見つけその拡張を模索していくこと、あるいは革新的な技術やサービスを通じ、移動シーンでの新たな体験価値の提供について模索していくこと、など様々なテーマを想定しています。リアルなフィールドでの実験や新規ビジネスの開発なども視野に入れ、精力的に活動してまいります。

MDLは様々な経歴を持つ社員で構成されており、マーケティング、プランニング、リサーチ、メディア、プロデュースなど、メンバーそれぞれのバックグラウンドを活かした活動を行ないます。同時にオープンイノベーションを意識し、外部の企業や団体等との共同研究や実験、ソリューション開発等にも積極的に取り組む予定です。様々な企業と共に、“新しい移動”創造のムーブメントを作ってまいります。

MDLの活動は弊社ウェブサイト等で適宜積極的に公開し、移動の視点から社会の活性化やイノベーションに貢献してまいります。

【グラフ】生活者の外出率およびトリップ数の過去推移



出典: 国土交通省「平成27年度全国都市交通特性調査(速報版)」

※1「外出率」=調査日に外出していた人の割合(単位:%)

※2「トリップ数」=1人が1日のうちに目的をもって動く回数(トリップ数)の平均(単位:回)